

### 第3回日田市中小企業振興推進会議委員発言記録（概要）

日時：令和4年11月16日（水）14：00～

場所：日田市役所4階 庁議室

#### ○委員長代理挨拶

・日田市の人口が合併から17年間の間で約1万人減ってきている。人口減少を止めるためにも、若者が日田で働きやすい環境を整えていくことが重要だと思っています。この中小企業振興推進会議が日田市の働く環境を整えていく場だと思っていますので活発な意見を求めます。

・本会議の成立要件について事務局より報告をお願いします。

#### ○事務局

・中小企業振興推進会議員の13名中のうち、8名の出席で、設置要綱第6条第2項の規定により本会議が成立しています。

#### 議題1 地方創生推進交付金の事業評価について

##### ○事務局

・交付金事業の評価を日田市総合計画審議会で行ってきたが、審議会において、「交付金事業の評価は、各分野に精通した方々で行ったほうがよいのでは」とご意見をいただいたことから、令和2年度の実績分から分野ごとの会議体で評価を行うこととなったため、本会議で審議をお願いしたい。

・評価対象事業の内容にあわせて、関連する取組についての説明をし、事業の目的と成果などをもとに書面にて評価をいただきたい。令和3年度に行った事業内容の説明と実施者である日田市として、地方創生に効果があったか、自立性はあるかなどの判断について、事務局から説明しますので、委員の皆様方には、事業について日田市の総合戦略のKPI達成に有効であったかなかった、書面にて判断していただきたい。

資料「第3回日田市中小企業振興推進会議資料」により、下記の項目について事務局から説明。

1. 地方創生推進交付金の事業評価について
2. 地方創生推進交付金実績報告（令和3年度実施分）
3. おおいたの未来を牽引する事業者育成体制整備事業  
日田スタートアップ支援事業
4. 若者が安心して働ける環境づくり推進事業  
ひたで働く魅力発信事業

○委員長代理

- ・報告に対して質問はありますか。

○A 委員

- ・「第3回日田市中小企業振興推進会議資料」の7ページで県内の内定者数が減っていますが、企業側の求人が減ったということですか。

○事務局

- ・「第3回日田市中小企業振興推進会議資料」の7ページの「県内企業就職内定者数」の実績値は、大分労働局管内の数字をもってきています。大分労働局が大学などへ調査した結果となっており、企業側の求人が減少したかどうかはわかりません。

○A 委員

- ・日田市内の内定者数はわかりますか？

○事務局

- ・大分県内のみの実績ということで内訳まではわかりません。

○B 委員

- ・冒頭の委員長代理挨拶にあったように、人口が減っていくことが問題となっています。若者が減っている現状は、日田市の家賃が高いため若者が住めないと聞いています。日田市内の家賃が高いため、中津、うきはから日田市に通勤している人がいるとも聞いています。賃金が低い、若者・子育て世代としては、日田市内の家賃が高いため日田市に定着しないと思います。

○委員長代理

- ・貴重な意見ありがとうございました。その他意見・質問はありませんか。
- ・続いて、本日の議題2 コロナ対応地方創生臨時交付金の事業評価について事務局より説明をお願いします。

○事務局

- ・「令和3年度（令和2年度繰越事業含）コロナにかかる経済対策一覧」により、事業評価方法について説明。

- 委員長代理：説明に対して質問はありますか。

○事務局

・新型コロナウイルス感染症対策を行ってきましたが、事業についての評価は難しいと思いますが、事業者の皆さまに微力ながら経営の支えにはなっているのではないかと思います。

○C委員

・「令和3年度（令和2年度繰越事業分含）コロナに係る経済対策一覧」のNO10の「地域資源サテライトオフィス等整備事業についての利用人数を教えてください。

○事務局

・令和4年3月からオープンしており、宿泊等含む施設利用者が令和4年9月時点で約700人となっています。より良い施設運営が図られるように引き続き、運営事業者と連携していきたい。

○C委員

・サテライトオフィスの目的で整備したのでカフェや宿泊の利用だけだと効果が出ていないと思います。  
・プレミアム商品券について、効果が出ていますか。

○事務局

・参加事業者の売上が、商品券を使用したことによって売上が増加しているかの調査はできません。ひたペイアンケートによると「いつも買えないものを買うことができた」「福岡に買い物をしているが日田で買い物をした」などという意見がありました。

○B委員

・プレミアム紙商品券について、令和3年度は、紙商品券は大型と中小どちらでも使用が可能でした。令和4年度のプレミアム紙商品券は中小・大型共通と中小専用と別れて使用できるため、令和4年度になってプレミアム商品券による売上が増えてきていると感じています。令和3年度のプレミアム商品券を執行するときは、令和4年度の内容で行うような考えは、なかったですか。

○事務局

・日田市は令和2年にひたペイを始めまして、令和2年度、3年度は、ひたペイを推進するため、電子商品券のプレミアム率も紙商品券より高く設定し、かつ、中小企業店のみで使用可能としておりました。紙商品券は中小・大型共通で執行しました。

○A 委員

・手厚い支援をありがとうございます。周知する方法として、支援金を申請する際にメールアドレス等を申請様式のひとつの項目に入れ、「今後の支援金についての情報を受け取るための名簿登録を希望します」などの同意をもらい名簿を作成するなどしてみたらどうか。

○事務局

・貴重な意見ありがとうございます。

D 委員

・各支援策については、売上減少率の割合が 30%以上、50%以上とあるが、減少率が高く設定していると感じますが、実際終わってどのように感じましたか？

○事務局

・緊急支援事業については、当初商工会議所、商工会、各団体の要望及び協議をして売上減少率を 50%と決定いたしました。その後、売上減少率 50%というのがハードルが高いということで、減少率を 30%にし、第 2 期分から家賃補助、自己所有物件補助を施行したところです。

緊急支援金は 1,100 件の想定に対して申請は約 800 件となっているので、十分な事業効果はあったと感じています。

○E 委員

・物価高騰緊急支援事業のチラシを営業先のお客さまに配布を行っています。この事業についてどのような周知を行っていますか。

○事務局

・中小企業者等物価高騰緊急支援事業の周知方法は、チラシの全戸配布、日田市ホームページ掲載、YouTube による申請方法の説明動画他、商工会議所、商工会、金融機関、各種団体へのチラシを配布及び周知を行っております。12 月 1 日号に再度広報掲載の予定としています。

○F 委員

・「令和 3 年度（令和 2 年度繰越事業分含）コロナに係る経済対策一覧」の NO3～9 に掲載している補助事業については非常に助かったと感じています。しかし、小さい飲食店では、新型コロナウイルス感染症の流行前では 2 千万あった売上から 500 万まで下がったと聞いています。また、新型コロナウイルス感染者が広まっているので、感染防止のための規制が心配です。中小企業者等物価高騰緊急対策事業のチラシは、全組合員に配布をしています

が、支援金対象者に該当しないと懸念されている組合員がいます。

○事務局

・該当となるかどうかは確定申告書などを拝見しないとわかりませんので、支援窓口に予約して相談していただければ助かります。

○委員長代理

・貴重な意見ありがとうございます。その他ございませんか。なければ、事業の審議を終わらせていただきます。事務局は評価に関する説明をお願いします。

○事務局

・「地方創生推進交付金の事業評価」、「コロナ対応地方創生臨時交付金の事業評価」について評価・記入方法を説明。

○委員長代理

・それでは、評価及び記入をお願いします。

～記入時間 10分程度～

○委員長代理

・評価及び記入を終了してください。最後に意見やお知らせなどある方はいますか。

○G委員

・雇用調整助成金について、新型コロナウイルス感染症の特例措置により助成率をあげておりました。令和4年10月を境に元の助成率を下げっていくことになりましたのでお知らせいたします。

・来年3月の卒業者は内定率69,5%と低い数字ですので、学校への求人を出している企業様へ学校から問い合わせがあるかと思いますので対応をお願いします。

委員長代理

・これを持ちまして本会議の審議を終了いたします。

15時20分 閉会